

# 自由な発想 未来につながる作品

## 「みんなのみらい」「テーマに11チーム

「みんなのみらい、みんなでつくる」をスローガンに、2021年度宮城県小学生プログラミング大会が11月14日、仙台市太白区の東北工大八木山キャンパスで開かれた。未来を担う子どもたちに柔軟な発想でコンピュータのプログラミングを楽しんでもらうのが狙いで、全国選抜小学生プログラミング大会宮城県予選を兼ねる。1次選考を通過した11チームが出場し、プログラミング作品を発表した。最優秀チームは来年3月の全国大会に進出する。



表彰式後に出場チーム全員で記念撮影

ICT（情報通信技術）社会の進展に伴い、プログラミング教育の必修化が昨年度は小学校、本年度は中学校でスタートし、高校では来年度始まる予定だ。今大会は昨年に続き2回目「みんなのみらい」が応募テーマ。県内の小学生の個人・団体（4人まで）を対象にプログラム作品を募集し、前回の28件を大幅に上回る43件のエントリーがあり、1次選考を通過した11チームが県大会に進んだ。

### 環境問題やSDGs テーマの作品

発表は1チーム3分以内。5人の審査員が発想力40点、表現力と技術力が各30点の計100点で評価した。

今回は環境問題や地球温暖化、SDGs（持続可能な開発目標）をテーマにした作品が多く、近年、世界的な取り組みが求められ、連日のようにニュースで見掛ける内容だけに、審査員はもちろん来場者も興味深くそれぞれの発表に見入った。開催あいさつで河北新報社の鈴木伸一常務は応募者の増加に触れ、「プログラミングが子どもたちに浸透しているのがうかがえる。自由な発想で未来を描いてもらいたい」と話した。



最優秀賞 AIロボットパン屋さん 海辺のパン屋さんチーム

パンを運ぶロボットは男子、プログラミングは女子が担当しました。土・日曜に集まり2カ月かけて作りました。課題としてはロボットを改良して声で操作できるようにするほか、1回のレジでたくさんのパンを識別し会計できるようにし、目や耳が不自由な人にも不便なく使ってもらえるようにしたいと思います。



発表を聴き入る小学生と保護者

営業部長から副賞が贈られた。最優秀チームの4人は幼稚園の時から友達で、この日の出場者の中では最少の8歳。来年3月6日にオンライン開催の全国大会に出場する。4人は「とてもうれしかった。考えていなかった質問をされてしまい、返答に困った。全国大会ではどんな質問にも答えられるようにしたい」と元気に話した。

高の中川西剛校長は「1人だと自分のペースのみだが、チームで作り合うことが、チームで実感した。皆さんの取り組みをぜひ学校や地域でも発表してほしい」と語りかけた。審査の結果、最優秀賞・清水建設賞は「海辺のパン屋さんチーム」、優秀賞は「トリプルギャートルズ」、優良賞は田村直樹さんと清野智優さんに決まり、表彰式では最優秀チームに賞状やメダルのほか、清水建設東北支店の影山徹

### チームで作り合う 大切さを実感

発表が終わり、仙台城南

### 閉会あいさつ

### 今後に生かす発表の経験

チームで取り組む難しさもありますが、1人ではできないことができる良さもあります。苦労して一つにまとめたのではないのでしょうか。保護者の皆さんもハラハラドキドキしながら見守られたことでしょうか。大勢いる広い教室で発表する機会はなかなかなく、良い経験になったと思います。創造的な取り組みは点数で測られるものではありません。チャレンジした皆さんに拍手を送ります。ぜひ次の制作に向けて頑張ってください。皆さんは大人以上に環境やSDGsのことを考えていて感心しました。これからもいろいろなことに関心を持ち、自ら積極的に関わってほしいと願います。

東北工業大学 副学長  
建築学部長 教授  
石井 敏氏



### 審査全体講評

### 自分の考えどう伝えるか

宮城教育大学 教科教育学域（技術科教育）教授  
仙台市教育委員会  
プログラミング教育研究部会アドバイザー  
安藤 明伸氏



2回目の出場者もいましたが、前回は踏まえ、研究されて今大会に臨んだと思います。賞に入った人も逃した人も、わずかな差でした。前回よりテーマが広がったことで、どう捉えるのが重要だったと思います。人間は文脈や空気を読むことができますが、コンピューターにはできません。プログラミングを通じ、自分の考えをどのように伝えるのが大切です。今回は複雑なプログラムが多くなってきて感じました。学校で学習していないことも盛り込み、いろいろと学ぶきっかけになっているようです。きょうの発表であったSDGsの取り組みなど、皆さんの未来につながることを期待しています。

- 宮城県大会 出場者(エントリー順)**
- 佐藤 柚希さん iTeenイオン仙台中学校 5年  
クイズ「未来をよくするために」
  - 熊谷 陸さん iTeenイオン仙台中学校 6年  
海を守れ!!
  - 清野 智優さん iTeenイオン仙台中学校 5年  
クイズで地球を救おう!
  - 海辺のパン屋さんチーム  
中村 美音さん 仙台白百合学園小学校 2年  
香川 空翔さん 仙台市立高森小学校 2年  
野崎 涼加さん 仙台市立寺岡小学校 2年  
齋藤 一豊さん 仙台市立高森小学校 2年  
AIロボットパン屋さん
  - 八巻 実龍さん プログラミングスクール サクール 6年  
Robot for ALL
  - 佐々木 琉羽さん 仙台市立太白小学校 6年  
新型コロナウイルスを倒せ! 弾幕ゲーム
  - 石川 颯亮さん プロスタキッズ仙台五橋校 5年  
SDGs ACTION
  - TEAMさつき  
佐藤 至さん 蔵王町立宮小学校 4年  
日下 龍斗さん 蔵王町立宮小学校 6年  
温暖化から世界を救え!
  - 佐藤 祐希さん ディードットステーション木町通教室 4年  
漁業体験チーム
  - トリプルギャートルズ  
常見 胡桃さん 美里町立青生小学校 4年  
佐々木 望翔さん 大崎市立古川第一小学校 4年  
伊藤 俊亮さん 大崎市立古川第三小学校 4年  
SDGsで未来をかえよう!
  - 田村 直樹さん 富谷市立東向陽台小学校 6年  
Sea☆Drone

- ◎宮城県大会 概要
- 主催/河北新報社、東北工業大学、全国新聞社事業協議会  
 後援/経済産業省、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会  
 協力/共同通信社、仙台城南高等学校  
 特別協賛/清水建設(株)  
 一般協賛/カメイ(株)、サントリーフーズ(株)  
 審査員/安藤明伸氏 (仙台市教育委員会プログラミング教育研究部会アドバイザー)  
 室山真徳氏 (東北工業大学工学部電気電子工学科准教授)  
 佐藤健一氏 (東北工業大学技術支援センター技術主任)  
 千葉俊哉氏 (仙台城南高等学校探究科長)  
 鈴木伸一氏 (河北新報社常務取締役)